

# 当社におけるDXの進捗

2025年4月1日

協立電機株式会社  
代表取締役社長 西 信之

私たちが掲げるDX戦略の進捗状況について以下の通り、お知らせいたします。

## ①顧客対応力強化に向けたDX

当社は顧客対応力を強化すべく、お客様情報の整備と共有・活用するために既に導入済のSFAに全ユーザ情報を登録（登録率100%）を目指しております。

現在、登録率は92%であり、100%を目指すように登録を進めています。  
SFA利用率が70%であり、利用率100%を目指し対応力強化を図ります。

## ②DX関連売上比率の向上

当社は製造現場におけるDXを自ら推進し、そのノウハウをお客様に提案することでDX関連売上比率の向上を目指しております。

お客様への提案の場として、当社主催の展示会である「協立グループ展in 静岡」を2023年11月18日開催、1000名を超える来場者へ、ロボット・FAソリューション、分析ソリューション、IoT・DXソリューション等、当社のノウハウを含め様々なDXソリューションの紹介を行いました。

2025年9月12日に「協立グループ展in 浜松」を開催することが決定し、最新機器の紹介や技術情報、DXソリューションの発信と提案を進め、さらなる向上を目指します。

「協立グループ展in 浜松」 2025年 9月12日 開催決定

「協立グループ展in 静岡」 2023年11月18日 開催

URL : <http://engsol.kdwan.co.jp/2023/index.html>

## ③DX基盤「新基幹システム」の開発状況

当社では経営数字把握の高度化を図るべく、新しいシステム基盤(新基幹システム)を構築し、2024年11月より運用を開始しており、基盤となるデータ収集を進めております。なお、現在までの経過は以下の通りとなっております。

2024年1月 試験稼働（既存システムと平行稼働）  
2024年11月 稼働（基盤情報収集中）